

JAL企業年金基金の3月7日代議員会の議案(平成25年予算案、規約の一部変更など)について説明をいただきました。この議案の内容はまもなく「ゆとりⅡ」でお知らせの予定とのことです。

1, 加入者・受給者・待機者の状況について

	H25年3月末	H24年3月末	H23年3月末
加入者数	決算確定時に確定	10,260名	10,500名
待機者数	同上	2,902名	3,454名
受給者数	同上	7,005名	6,548名

*毎月、約数十名規模の中途退職者が出ている。

*毎年、約数十名が待機者から受給者となっている。

*平成25年4月に約370名の加入者(正社員になって2年経過)を予定している。

1, 予算内容について(主な科目)

	H26年3月末推計	平成25年3月末見込	平成24年3月末決算
掛金収入	146億円	146億円	129億円(標準掛金53億、特別掛金77億)
給付費	174億円	164億円	163億円
年度末純資産	2,096億円	2,092億円	2,108億円
責任準備金	2,152億円	2,148億円	2,139億円
数理債務(年金原資)	3,347億円	3,417億円	3,477億円
特別掛金収入現価	1,195億円	1,268億円	1,338億円
特例掛金収入現価	0	0	0

*掛金収入の内訳で標準掛金、特別掛金の収入割合は平成24年の実態とあまり変わらない見込み。

1, 規約の変更内容について

- ・非継続基準の財政検証は、省令改正によって特例掛金(不足金を1回で埋め合わせる単発的な掛金)の計算方法が変更になった。(この変更による特例掛金の発生はない。)
- ・省令改正による財務諸表の簡素化に対応した勘定科目に見直した。
数理債務、未償却過去勤務債務残高(特別掛金、特例掛金)は簿外への掲載になった。
- ・規約に新たな委託業務として「転居先不明等で連絡不能の受給者検索」のため企業年金連合会に委託して住民基本台帳ネットワークシステムから住所情報を得られるようにした。

1, 資産運用について

2013年1月末現在で▲0.20%(▲421百万円)となっている、期末にはプラスになる予定、2月末では▲0.02%になっている。

資産運用は一般生保などの低リスク資産への移行割合を85%に高めてきた。(現時点では国内株、外国株の構成比率は0%となっている。)

1, その他

①契約制客室乗務員の加入条件について

労働契約法の改正に関連して、新20条(4月1日から施行)で「同一の使用者と労働契約を締結している、有期契約労働者と無期契約労働者との間で、期間の定めがあることにより不合理に労働条件を相違させることを禁止するルールです。」が規定されています。

労働契約法改正を反映した、契約制客室乗務員の企業年金への加入条件の見直しの検討をお願いしました。

②次回日程

次回代議員会は決算内容に関して7月頃に開催予定です。今回の代議員会の内容については「ゆとりⅡ」でお知らせする予定とのことです。